

# 流通BMSメッセージ交換 (オンラインの手引き)

2011年 2月 3日 初版

ユニー株式会社

## ■目 次

1. 流通BMS切替に関する変更点	.....1
2. 流通BMS導入スケジュール	.....5
3. その他資料	.....6 ~

- ・流通BMSの仕様に関する資料

- (標準)マッピングシート

- ユニー⇒流通BMSコード変換表

- 出荷メッセージエラー一覧

- プロトコル及び処理スケジュール

- ・流通BMSの伝送設定、テストに関する資料

- (標準)流通BMS協定シート

- 流通BMSデータ交換の手引

- ・ユニー印字関連資料

- ラベル印字編集要領

- POS値札編集要領

- 伝票印字編集要領

※資料名が(標準)となっているものは流通BMSで標準化された資料です

# 1. 流通BMS切替に関する変更点

※ユニーは流通BMS標準を採用していますので、流通BMSガイドラインの内容にてデータ作成をお願い致します。  
 流通BMSガイドラインは流通システム標準普及推進協議会のHPからダウンロードが可能です。  
 <URL:http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/index.html>

- ①データ形式はタグ区切りのレイアウトであるXML形式となります。
- ②全社共通で利用できる標準項目が定められています。
- ③各区分(例:発注区分)について、コード体系が標準化されています。
- ④出荷データ作成(項目毎の発注内容引き継ぎ有無)についてもルール化されています。  
 →各項目のセット内容や、JCAから流通BMSの読み替えについてはマッピングシートをご確認ください。

## 1. 1. マッピングシートについて

### 1. 1. 1. マッピングシート構成

The image shows a complex mapping sheet with columns for various data points. Two large white arrows with black outlines point to specific areas: one points to the left side of the sheet (columns 1-10) labeled '流通BMS項目レイアウト (必須任意、属性他)', and the other points to the right side (columns 13-17) labeled '項目利用内容、JCAとのマッピング情報'. The sheet has a red header and yellow highlights in some rows.

### 1. 1. 2. マッピングシート ヘッダ項目補足

#### (1) 流通BMS項目レイアウト関連

項番	ヘッダ項目名	記載内容	備考
①	連番	マッピングシートとしての項目番号	-
②	メッセージ項目番号	流通BMSメッセージ項目番号	-
③	分類	項目分類	-
④	項目名 1	項目名称	-
⑤	項目名 2	(階層を意識して1, 2, 3と分かれています)	
⑥	項目名 3		
⑦	必須/任意	流通BMSメッセージの必須/任意	-
⑧	タイプ	項目のタイプ(数字、文字など)	-
⑨	XMLデータ型	項目のデータ型(Text、CODEなど)	-
⑩	桁数	項目桁数	-
⑪	引継項目	項目の引継元メッセージ	出荷データ作成時に参照 発注:発注引継ぎ、出荷:出荷入力 項目として扱う
⑫	コードリスト	標準コードリストの有無 (○であればコードリストが存在)	コードリストが存在する場合、 標準コード体系に則って値をセット

#### (2) 項目利用内容、JCAとのマッピング関連

項番	ヘッダ項目名	記載内容	備考
⑬	利用有無	項目の利用有無 (○であれば利用する)	利用する場合は原則値をセット
⑭	現行の項目名	JCAレイアウトでの項目名	JCAから流通BMSへの 読み替え(マッピング)に利用
⑮	サンプル1	流通BMSでのセット値サンプル	-
⑯	使用桁数	実際に利用する桁数	-
⑰	項目活用方法の 補足説明	流通BMS、およびJCAでの 項目利用方法補足	-

## 1. 2. 発注メッセージについて

発注データについてJCAから流通BMSへの読み替え(マッピング)に関してポイントとなる部分を以下に記載します。

### (1)新たに追加となる項目

JCAと比較して流通BMSでは項目数が大幅に増加しています。

実際に利用する(値がセットされる)項目についてはマッピングシートの利用有無(⑬)を確認してください。特にポイントとなる追加項目は以下となります。

- ・JCAでは取り扱えなかった漢字名称項目の追加
- ・センタ納入日の目安となる直接納品先納品日項目の追加(店舗への納入日ではありません)

### (2)項目名が変更となる項目

JCAから流通BMSへ読み替える際に名称が変わる項目が多く存在します。

マッピングシートの流通BMS項目名(④⑤⑥)と現行の項目名(⑭)にて読み替えをして下さい。

例JCA		流通BMS
伝票番号	→	取引番号
物流センタコード	→	直接納品先コード
店舗コード	→	最終納品先コード
納入日	→	最終納品先納品日

### (3)コード体系の標準化

マッピングシートのコードリスト(⑫)が○となっている項目はコード体系が標準化されています。

そのため、従来ユニーで利用していたコード体系から標準コード体系への読み替えが必要となります。

「ユニー⇒流通BMSコード変換表」にユニーコードと標準コードのマッピングを纏めてありますのでご確認ください。

例) JCA		流通BMS
発注区分		発注区分
05(店舗補充発注)	→	02(店舗追加発注)
06(本部発注)	→	06(初回発注)
08(特売)	→	01(本部計画発注)

### (4)商品コードについての変更点(JANコードが無い商品の場合)

ユニーでは商品を特定するキーとなる群番+SKUを以下編集要領にて「商品コード(発注用)」項目にセットします。

商品コード(発注用)＝「0+04+群番+0+SKU+C/D」

上記商品コード(発注用)を商品を特定する為のキーとして利用してください。

※群番、SKU自体は項目名称が変更となりますが、それぞれ別項目に値がセットされます。

例) JCA		流通BMS
群番	→	商品分類(大)
SKU	→	商品分類(細)

※JANコードがある商品の場合は、JANコードが商品コード(発注用)にセットされます。

### (5)その他

#### ・値札区分について

流通BMSでは発注と値札は別メッセージとされており、値札区分含め、値札に関する情報は値札メッセージとして連携されます。POS値札を発行されているお取引先様は値札メッセージの利用が必須となります。項目詳細については値札マッピングシートをご確認ください。

#### ・地区区分について

流通BMSでは存在しない項目となります。地区判別が必要な場合は直接納品先(納品先センタ)、最終納品先(店舗)にて判断頂く必要があります。

### 1. 3. 出荷梱包メッセージについて

伝票レス化を行うため、伝票の代わりとなる出荷梱包メッセージを作成いただく必要があります。  
以下に出荷梱包メッセージ作成のポイントとなる点について記載いたします。

(1) 項目セット内容について(発注メッセージからの引継ぎ、出荷入力項目)  
TA型モデルの業務プロセスとなるため、出荷梱包メッセージ項目の多くは発注メッセージからの引継ぎとなります。  
引継ぎについてはマッピングシートの引継ぎ項目 (①)をご確認ください。  
「発注」と記載がある項目は発注メッセージの内容をそのままセット、  
「出荷」と記載がある項目についてのみ出荷実績から内容をセットしてください。

(2) 梱包Noについて  
出荷梱包メッセージには梱包を特定する為の梱包Noをセット頂く必要があります。  
梱包Noは梱包に貼付頂くSCMラベルにも印字が必要となります。  
物流センタでは貼付されたSCMラベルの梱包Noと、出荷梱包メッセージ内の梱包Noを照合します。  
そのため、SCMラベルと出荷梱包メッセージの梱包Noが正しく紐付くようデータを作成ください。

(3) 直接納品先納品日、訂正後直接納品先納品日について  
流通BMSではセンタ納入日の目安となる直接納品先納品日が追加されています。  
但し、上記項目はあくまで目安であり、実際のセンタ納入日が変更となる場合は  
訂正後直接納品先納品日にセンタへの実納入日をセットして出荷データを作成します。

例) センタ納入日が発注メッセージから見て1日遅れる場合

発注メッセージ		出荷梱包メッセージ
直接納品先納品日: 2011/2/4	→	直接納品先納品日: 2011/2/4 (発注引継ぎ項目の為、変更不可)
	→	訂正後直接納品先納品日: 2011/2/5 (変更があった場合のみ、実センタ納入日をセット)

(4) ITF情報について  
出荷梱包メッセージのレイアウトにはケース納品に対応したITF情報タグが存在します。  
現状ケース納品ができませんので、ITF情報は作成しないようお願いいたします。  
※ 出荷梱包内容と欠品情報で出荷梱包メッセージを作成ください

## 1. 4. 出荷メッセージについて

伝票レス化を行うため、伝票の代わりとなる出荷メッセージを作成いただく必要があります。  
以下に出荷メッセージ作成のポイントとなる点について記載いたします。

- (1) 項目セット内容について(発注メッセージからの引継ぎ、出荷入力項目)  
TA型モデルの業務プロセスとなるため、出荷メッセージ項目の多くは発注メッセージからの引継ぎとなります。  
引継ぎについてはマッピングシートの引継項目 (ii) をご確認ください。  
「発注」と記載がある項目は発注メッセージの内容をそのままセット、  
「出荷」と記載がある項目についてのみ出荷実績から内容をセットしてください。

出荷型モデルの業務プロセスの場合、元となる発注メッセージは存在しませんので、  
発注メッセージからの引継ぎは行えず、一通りの情報をお取引先様でセット頂く形となります。

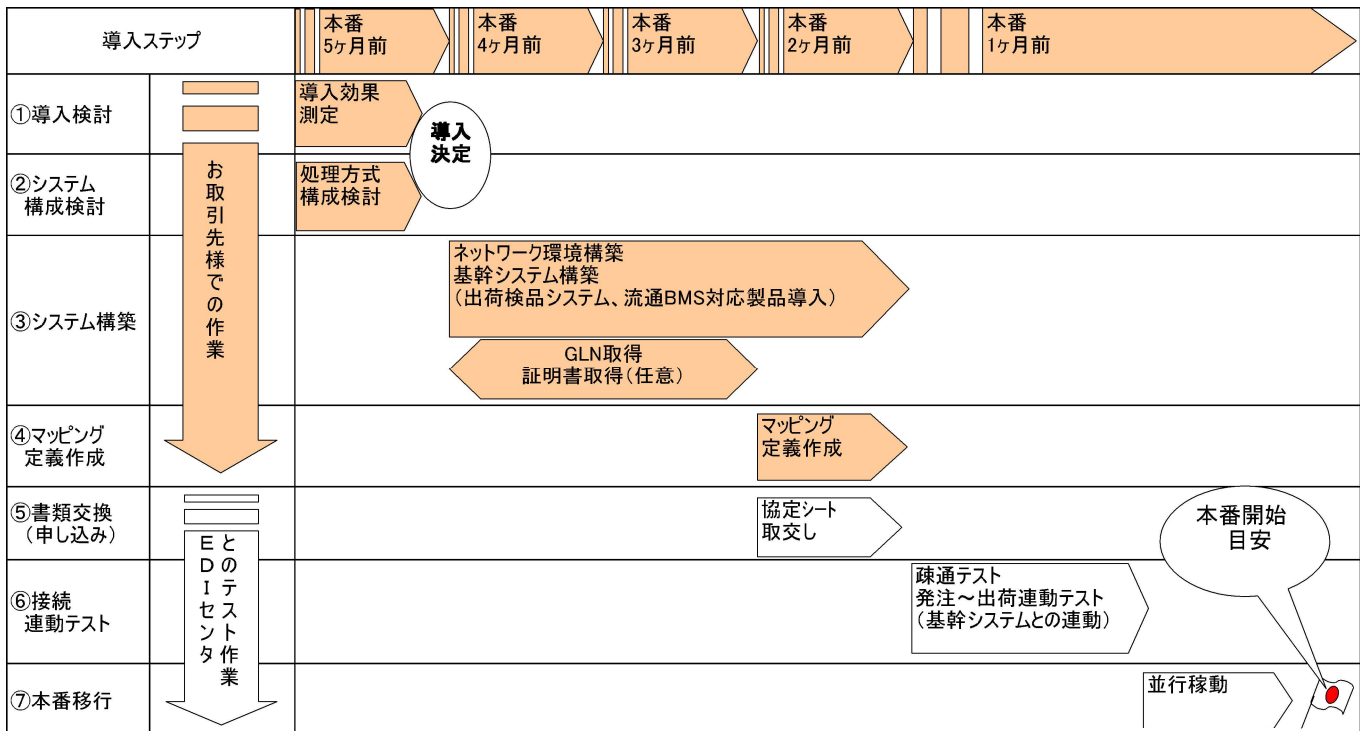
- (2) 直接納品先納品日、訂正後直接納品先納品日について  
流通BMSではセンタ納入日の目安となる直接納品先納品日が追加されています。  
但し、上記項目はあくまで目安であり、実際のセンタ納入日が変更となる場合は  
訂正後直接納品先納品日にセンタへの実納入日をセットして出荷データを作成します。

例) センタ納入日が発注メッセージから見て1日遅れる場合

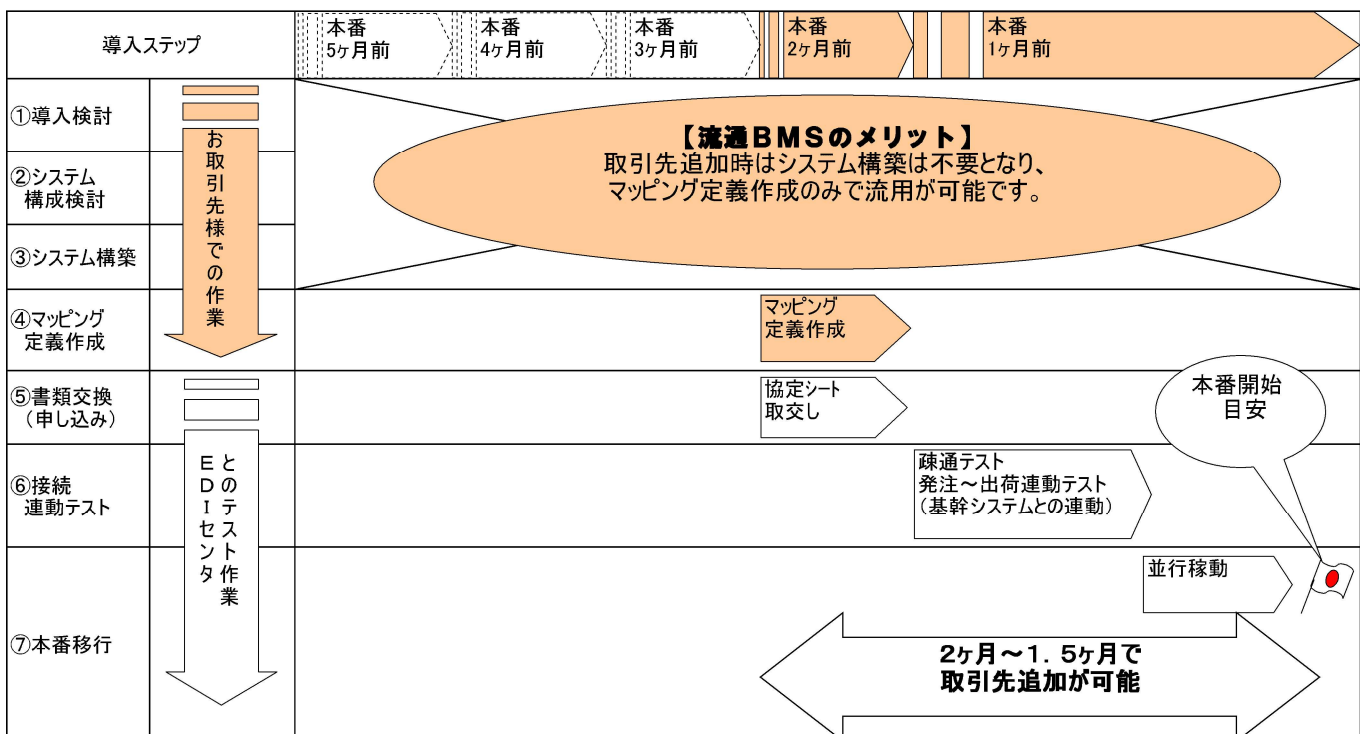
発注メッセージ	出荷メッセージ
直接納品先納品日: 2011/2/4	→ 直接納品先納品日: 2011/2/4 (発注引継ぎ項目の為、変更不可)
	→ 訂正後直接納品先納品日: 2011/2/5 (変更があった場合のみ、実センタ納入日をセット)

## 2. 流通BMS導入スケジュール

### 2.1. 導入スケジュールイメージ(流通BMS未導入)



### 2.2. 導入スケジュールイメージ(流通BMS導入済み)



# 1. 流通BMSメッセージコード変換表 (ユニー独自コード⇒BMS標準コード)

変換元(ユニー独自コード)				変換先(BMS標準コード)	
データ種別	ASNフォーマット番号	データ区分(レイアウト区分)		#7 メッセージ種	
01 発注(エコー・MPS)	—	01	エコー発注(レイアウト0)	発注データ	
01 発注(エコー・MPS)	—	31	MPS発注(レイアウト0)	(Order)	
01 発注(エコー・MPS)	—	61	JAN発注(レイアウト4)	出荷データ(梱包型・紐付けあり)	
02 事前出荷	1	出荷梱包(紐付けあり)	—	(Package Shipment Notification)	
02 事前出荷	2	出荷梱包(紐付けなし)	—	出荷データ(梱包型・紐付けなし)	
02 事前出荷	5	出荷	—	(Non-associated Package Shipment Notification)	
11 請求	—	—	—	出荷データ	
12 支払	—	—	—	(Shipment Notification)	
15 仕入計上	—	—	—	請求データ	
21 補充勧告	—	—	—	(Invoice)	
22 入荷予定	—	—	—	支払案内	
23 入荷確定	—	—	—	(Payment)	
上記以外	—	—	—	受領データ	
商品コードSMフラグ				#75 商品コード区分	
1 JAN・EAN(13桁)				006	EAN/UCC14桁(GTIN)
2 JAN・EAN(8桁)				006	EAN/UCC14桁(GTIN)
3 UPC-A(12桁)				006	EAN/UCC14桁(GTIN)
4 UPC-E(6桁)				006	EAN/UCC14桁(GTIN)
5 インストアPLU(8桁)				999	自社コード
6 インストアNONPLU(13桁)				999	自社コード
7 背番号(3桁)または使用禁止				999	自社コード
8 コンセ				999	自社コード
9 インストアPLU(13桁)				999	自社コード
0 エラー時に使用				999	自社コード
上記以外				999	自社コード
発注区分	納品カテゴリ下2桁			#171 商品区分	
05 店舗補充発注	77			03	特売(チラシ)
05 店舗補充発注	77以外			01	定番
06 本部発注	77			03	特売(チラシ)
06 本部発注	77以外			01	定番
08 特売	—			03	特売(チラシ)
上記以外				<納品カテゴリ下2桁から判断> 納品カテゴリ下2桁が77:03(特売(チラシ)) 納品カテゴリ下2桁が77以外:01(定番)	
発注区分				#172 発注区分	
05 店舗補充発注				02	店舗(追加)発注
06 本部発注				06	初回発注
08 特売				01	本部(計画)発注
上記以外				02	店舗(追加)発注
仕入区分	EDI区分	データ種別(注)		#173 出荷データ有無区分	
1 買取	0	伝票あり(ASNなし)	—	02	出荷データ作成不要
1 買取	1	伝票レス(ASNあり)	—	01	出荷データ作成要
0 預かり	0	伝票あり(ASNなし)	—	02	出荷データ作成不要
0 預かり	1	伝票レス(ASNあり)	01,15	02	出荷データ作成不要
0 預かり	1	伝票レス(ASNあり)	21~23	01	出荷データ作成要
上記以外				NULL(任意のため)	
納品区分	仕入区分	データ種別(注)		#175 納品経路	
0 店直	—	—		01	店舗直納
1 センター納品	1	買取	—	02	センター納品
1 センター納品	0	預かり	01,15	03	小売預り在庫より出荷
1 センター納品	0	預かり	21~23	02	センター納品
上記以外				00	無指定
納品区分	在庫区分	仕入区分	データ種別(注)	#177 通過在庫区分	
0 店直	—	—	—	00	無指定
1 センター納品	1	通過型	1	01	TC
1 センター納品	0	在庫型	1	03	買取DC
1 センター納品	0	在庫型	0	02	預りDC
1 センター納品	0	在庫型	0	02	預りDC
上記以外				00	無指定
仕入区分	センター納品方法	データ種別(注)		#178 納品区分	
1 買取	0	店別仕分け納品	—	02	店別納品
1 買取	1	単品総量納品	—	01	総量納品
1 買取	2	カート店別仕分け納品	—	02	店別納品
0 預かり	1	単品総量納品	01,15	03	直接納品なし
0 預かり	1	単品総量納品	21~23	01	総量納品
上記以外				00	無指定



管理温度帯輸送		#182 配送温度区分	
5	常温	01	常温
1	10°C前後	02	チルド
2	5°C以下	02	チルド
3	0°C	03	冷蔵
4	-20°C	04	冷凍
—		05	超冷凍
上記以外		NULL(任意のため)	
EDI区分		#186 伝票レス区分	
0	伝票あり(ASNなし)	02	伝票あり
1	伝票レス(ASNあり)	01	伝票レス
上記以外		NULL(任意のため)	
欠品理由		#197 欠品区分	
00	欠品なし	00	欠品なし
11	ユニー責任(発注取消)	12	発注ミス(小売責)
12	ユニー責任(該当商品なし)	11	マスターメンテナンス(小売責)
13	ユニー責任(製造中止)	11	マスターメンテナンス(小売責)
14	ユニー責任(品切れ)	11	マスターメンテナンス(小売責)
15	ユニー責任(契約違い)	11	マスターメンテナンス(小売責)
19	ユニー責任(その他)	11	マスターメンテナンス(小売責)
21	ベンダー責任(発注取消)	21	納入者品切(取引先責)
22	ベンダー責任(該当商品なし)	21	納入者品切(取引先責)
24	ベンダー責任(品切れ)	21	納入者品切(取引先責)
25	ベンダー責任(契約違い)	21	納入者品切(取引先責)
29	ベンダー責任(その他)	21	納入者品切(取引先責)
23	ベンダー責任(製造中止)	22	メーカー品切(取引先責)
上記以外		NULL(任意のため)	
課税対象区分		#201 税区分	
0	外税	02	原価外税売価内税
1	非課税	03	非課税
2	内税	01	原売価内税
上記以外		00 無指定	

## 出荷メッセージエラー一覧

### 1. 出荷梱包メッセージエラー一覧

エラー項目	想定原因	想定対策
発注照合エラー	発注メッセージに存在しないメッセージ(伝票)が 出荷メッセージに含まれています	「取引番号」を確認して下さい
コードエラー	「直接納品先コード」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「直接納品先コード」を確認して下さい
日付エラー	「最終納品先納品日」、「訂正後直接納品先納品日」、 「直接納品先納品日」、「取引先出荷日」のいずれかが 処理日の前後一ヶ月以外となっています	「最終納品先納品日」、「訂正後直接納品先納品日」、 「直接納品先納品日」、「取引先出荷日」を 確認して下さい
梱包No 2重入りエラー	同一の「梱包No」が存在しています	同一の「梱包No」が存在しないか確認して下さい
店エラー	「最終納品先コード」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「最終納品先コード」を確認して下さい
行抜けエラー	発注メッセージと出荷メッセージで伝票明細行数が 異なります	伝票明細行数を確認して下さい ※セット値ではなく、データに含まれる(明細)行数が 異なっています
原価エラー	同一伝票内、同一商品で「原単価」が異なります	梱包分かれが発生したメッセージ間で「原単価」が 異なっていないか確認して下さい
売価エラー	同一伝票内、同一商品で「売単価」が異なります	梱包分かれが発生したメッセージ間で「売単価」が 異なっていないか確認して下さい
総梱包エラー	「出荷総梱包数」と実際のメッセージの数 (梱包No+ITF情報)が異なります	出荷総梱包数の値と実際のメッセージの数 (梱包No+ITF情報)を確認して下さい
数量エラー	①「出荷数量(バラ)」「欠品数量(バラ)」が 「発注数量(バラ)」と異なります ②「出荷数量(バラ)」<「発注数量(バラ)」、 且つ欠品区分が'00'となっています	「発注数量(総バラ数)」、「出荷数量(総バラ数)」、 「欠品数量(バラ)」、「欠品区分」を確認して下さい
情報バーコード エラー(24桁)	「梱包No」の設定に誤りがあります	①「梱包No」の頭2桁目が'1'であることを確認して下さい ②「梱包No」の3～4桁目が'01'であることを確認して下さい ③「梱包No」の5～8桁目が「最終納品先コード」と 一致していることを確認して下さい ④「梱包No」の15～19桁目が「取引先コード」と 一致していることを確認して下さい ⑤「梱包No」の20～24桁目が '00001'～'99999'であることを確認して下さい
群番エラー	①「商品分類(大)」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります ②「商品分類(細)」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	①「商品分類(大)」を確認して下さい ②「商品分類(細)」を確認して下さい
納品カテゴリエラー	「陳列場所コード」が発注メッセージと出荷メッセージで異なります	「陳列場所コード」を確認して下さい
計上済エラー	送信された出荷メッセージに対して、既に受領メッセージが発生し ています	過去に送信済みの出荷メッセージを送信していないか 確認して下さい
処理種別エラー	「処理種別」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「処理種別」を確認して下さい
ITF出荷数量(バラ) エラー	ITF情報の「出荷数量(バラ)」が「出荷ケース」× 「ITF入数(集合包装GTIN入数)」と異なります	「出荷数量(バラ)」、「出荷ケース」、 「ITF入数(集合包装GTIN入数)」を確認して下さい
形式エラー	標準で定義されているXML定義に反しているメッセージが 存在します	XML構造、項目属性、桁数違反が考えられます [行番号][列番号]が表示されますので該当する項目を 確認してください

## 出荷メッセージエラー一覧

### 2. 出荷メッセージ一覧

エラー項目	想定原因	想定対策
発注照合エラー	発注メッセージに存在しないメッセージ(伝票)が 出荷メッセージに含まれています	「取引番号」を確認して下さい
納入日エラー	「最終納品先納品日」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「最終納品先納品日」を確認して下さい
店コードエラー	「最終納品先コード」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「最終納品先コード」を確認して下さい
群番エラー	「商品分類(大)」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「商品分類(大)」を確認して下さい
物流センタコードエ ラー	「直接納品先コード」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「直接納品先コード」を確認して下さい
原価エラー	「原単価」が発注メッセージと出荷メッセージで異なります	「原単価」を確認して下さい
売価エラー	「売単価」が発注メッセージと出荷メッセージで異なります	「売単価」を確認して下さい
伝票区分エラー	「処理種別」が発注メッセージと出荷メッセージで異なります	「処理種別」を確認して下さい
部門エラー	「枝番」が発注メッセージと出荷メッセージで異なります	「枝番」を確認して下さい
伝票行数エラー	発注メッセージと出荷メッセージで伝票明細行数が 異なります	伝票明細行数を確認して下さい ※セット値ではなく、データに含まれる(明細)行数が 異なっています
SKUエラー	「商品分類(細)」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「SKU」を確認して下さい
納品カテゴリエラー	「陳列場所コード」が発注メッセージと出荷メッセージで 異なります	「納品カテゴリ」を確認して下さい
JANコードエラー	「商品コード(GTIN)」、又は「商品コード(発注用)」が 発注メッセージと出荷メッセージで異なります	「商品コード(GTIN)」、「商品コード(発注用)」を 確認して下さい
数量エラー	①「出荷数量(バラ)」「欠品数量(バラ)」が 「発注数量(バラ)」と異なります ②「出荷数量(バラ)」<「発注数量(バラ)」、 且つ欠品区分が'00'となっています	「発注数量(バラ数)」、「出荷数量(バラ数)」、 「欠品数量(バラ)」、「欠品区分」を確認して下さい
形式エラー	標準で定義されているXML定義に反しているメッセージが 存在します	XML構造、項目属性、桁数違反が考えられます。 [行番号][列番号]が表示されますので該当する項目 を確認してください。

## プロトコル及び処理スケジュール

### 3. 1. 流通BMS導入プロトコル(機器)の種類と特徴

NO	導入プロトコル	特徴	メリット	デメリット	伝送規模目安 /1回	備考
1	サーバー ebXML	プッシュ型(小売送信) (サーバ/サーバ型)  取引量が多く、 リアルタイムなデータ送受信 (大企業向け)	・リアルタイム性有り ・大容量データに対応 ・他社への汎用性高い	・導入コスト 比較的高 ・設定項目が多い	3000~ 10000枚 伝票程度	国内の大多数導入 ※1伝送10000枚を超える場合
2	パソコン JX	プッシュ型(小売送信) (サーバ/サーバ型)  取引量が多く、 リアルタイムなデータ送受信 (大企業向け)	プッシュ/プル型(卸受信) (クライアント/サーバ型) 取引量が比較的少なく 低コスト(一般企業向け)	・導入コスト 比較的低 ・他社への汎用性 高い	~3000枚 伝票程度	一般的な企業の方にお勧めです
3	パソコン WEB型BMS	プッシュ型 (卸が画面を操作) (クライアント/サーバ型)  取引量が比較的少なく、 定型の業務モデル向け (一般企業向け)	・導入コスト 比較的低 ・簡易的伝票レスの運用も可 能 ・エントリーモデル	・小売個別のWeb操作が必要 ・現時点で汎用性無し	~500枚 伝票程度	ラベルプリンタとHTの導入で 出荷梱包型EDI運用可

※各プロトコルについて最新メッセージバージョンであるV1.3及び、V1.0~V1.2での導入が可能です。

### 3. 2. 処理スケジュール(ebXML、JX、Web型BMS)

NO	名称	伝送時刻			サイクル	備考
		お取引先様	向き	EDIセンタ		
1	発注 (値札)	6:30から	←	ネットビジネス発注分	5回/日	※Web型BMSは14:00から ※Web型BMSは17:00から
		13:00から		12時発注分		
		16:00から		15時発注分		
		20:30から		18時発注分		
		22:30から		21時発注分		
2	出荷 出荷梱包	-	→	随時	-	
3	受領	8:30から	←	-	1回/日	
4	請求	-	→	随時	-	送信は毎月21日~25日
5	支払	9:00から	←	-	1回/日	